

～あなたの未来に最適な安心をご提供します～

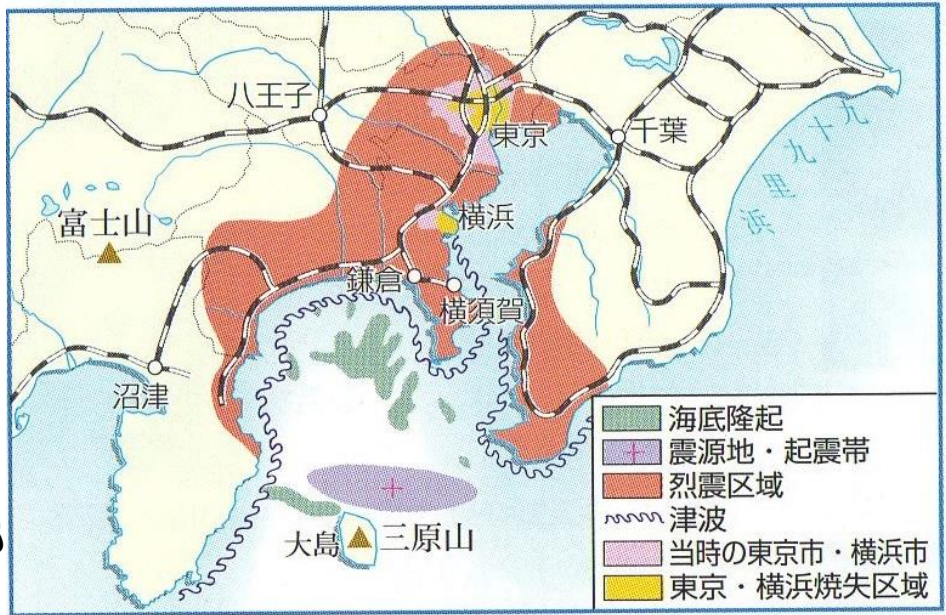
TOKYO CENTRAL NEWS



保険代理店
TOKYO CENTRAL
東京セントラル

第25号

◆ 関東大震災の発生とその被害（被害地域図）



今年（1923年）9月1日の午前11時58分に発生し、死者・行方不明者（推定）約10万5千人という甚大な被害をもたらした関東大震災から100年目の節目の年です。

そこで今回は、普段何気なく利用している身近なモノを活用して防災力を高めるアイデアの一部をご紹介します。



新聞紙は災害時でも大活躍

災害時の「新聞紙」有効活用方法

▼火おこしに使える

「新聞紙」をねじって棒状にして紙の薪を作り、その紙の薪を10本程度組んだ周囲に炭や薪を積み上げて火を付ければOKです。簡単に火おこしが出来ます。

▼トイレに使える

便器もしくは段ボール箱などに、ビニール袋（大き目のレジ袋でも可）をセットして、ちぎった新聞紙を入れれば簡易トイレに使えます。用を足したらビニール袋の口を縛って処分すれば、「新聞紙」が水分を吸収してくれるので、何も無いよりは衛生的に使えます。

▼スリッパになる

寒い避難所やガラスの破片などが散乱している場所などで履物が無い時は、「新聞紙」でスリッパを作りましょう。「新聞紙」とガムテープがあれば、簡易的なスリッパが作れます。「新聞紙」を沢山使えば、かなり丈夫なものが出来るようです。

▼防寒対策に使える

・新聞紙で上着を作る
新聞紙を数枚重ねて肩から羽織って粘着テープで合わせ目を止めれば、羽織コートの完成です。

・腹巻にする
新聞紙をお腹に巻いて、その上にラップを巻きつければ腹巻が完成します。

▼食器が作れる

「新聞紙」を三角形に折って、底のあるコップの形にします。その紙の容器の上にビニール袋をかぶせて下で結べば、お皿やコップとして使用できます。

▼骨折時の添え木代わりに使える

災害時に骨折して病院にかかれない時は、「新聞紙」で添え木を作りましょう。「新聞紙」を重ねて板のようにして骨折した部分を覆い紐を巻けば添え木の代わりになります。

ここに記した以外にも「新聞紙」は色々な活用方法があります。社会情勢を知ると共に、様々な二次利用も出来る「新聞紙」は、家庭の必需品とも言えます。もしもの時に備えて備蓄しておくことをお勧めします！



防災リュックやキャンプグッズに入れておくと役に立つ！ 緊急事態のラップ・アルミホイルの使い方



もともと食品用ではなく、軍用として開発されたと言われるラップ。野宿の時の蚊帳として、あるいは弾薬などを湿気から守るためのフィルムとして開発された経緯をもつラップは、災害時にも大きな力を発揮します。

▼濡らしたくないモノを守れる

防水性に優れ、テープなどがなくてもぴっちり巻けるラップ。濡らしたくないものに巻いておくと、ある程度の雨や湿気からは守ってくれます。

▼お皿に巻いて節水できる

断水してしまうことも多い災害時。衛生環境も悪くなりがちです。食事をする前に、お皿にラップを巻くようにしておくと、お皿を汚さずきれいに食べられて便利です。

おにぎりを作る時にも、ラップを使ってにぎると衛生的に作れます。

▼ヒモやロープとして使える

ラップを手でしごけば、便利なヒモに早変わり、さらにヒモにしたものを3本用意し、三つ編みすれば丈夫なロープになります。しっかりしているので、洗濯ロープの代わりに。

▼包帯代わりに使える

傷口にガーゼやティッシュ、生理用ナプキンなどをあて、ラップでぐるぐる巻きにすれば、傷の保護ができます。

▼メモ用紙として使える

ラップに油性ペンで文字を書けば、防水性のメモとして使えます。ホワイトボードマーカーを使えば、簡単に消せるメモ代わりにもなります。

上記の活用アイデアはほんの一例です。
皆さんも日常生活や、レジャーでキャンプなどへ行く際には試してみてくださいはいかがでしょうか！

弊社は損害保険会社8社、生命保険会社8社、少額短期保険会社1社を取扱い、お客様の企業経営から個人のライフプランまで総合的なリスクマネジメントをご提案いたします。

現在弊社以外でご契約の保険の証券診断も承りますので、お気軽にご相談ください！

弊社では、募集品質の改善・向上への取り組みの一環として、お客様から忌憚ないご意見やご感想を伺っております。是非ともご協力ください！

“お客様アンケートのサイト”
<https://forms.gle/EXCkVdfkxmLLni7u7>



キャンプ料理の強い味方、アルミホイル。サツマイモやジャガイモを濡れた新聞紙とアルミホイルで巻いて焼き芋を作ったり、釣った魚をホイル焼きにして楽しんだり、アウトドアには欠かせない存在です。緊急時にも火に強い、ある程度の強度があるのに形を自在に変えられるという特徴を活かした使い方ができます。

▼フライパンに敷いて節水できる

断水してしまうことも多い災害時。フライパンの汚れも、アルミホイルを敷くことで予防でき節水につながります。

▼食器代わりに使える

地震の揺れで食器が全部割れてしまった……。そんな時はアルミホイルがお皿代わりになります。1枚だと少し心もとないですが、3枚ほど重ねて使うとしっかりします。

備えあれば憂いなし！
高めよう、自助の力



◆弊社ホームページで「TOKYO CENTRAL NEWS」のバックナンバーを掲載しておりますので、是非ともご参照ください。